【事例　13】

食べ飽き傾向のある小学校５年生やせ男子児童に対する個別的な相談指導

【小学校、5年、男子】

食べ飽き傾向のある児童に対して柔軟な行動計画を提示

児童のモチベーション維持と保護者の意識変容で個人目標を達成

■要旨

1. 対象者の抽出・決定

・4月の校内身体測定結果から、肥満度-20%以下の児童。
・過去1年の体重の成長曲線が、チャンネルを横切って低下している児童。
・過去1年の肥満度曲線が、チャンネルを横切って低下している児童。

2. 目的・個別的な相談指導実施期間

・目的：やせの改善　　・実施期間：2か月

3. アセスメント（計画前の現状把握と課題の抽出）

・身長 141.5cm　体重 28.5kg　肥満度-20.7%
・食事調査から、以下の課題を抽出した。
　ア　1日のエネルギー摂取量 1,964～2,202kcal。　イ　給食の米飯の摂取量 110g/日。

4. 個人目標

・2か月後の身長を 142.3cm と仮定し、目標を体重 1.5kg 増加（体重 30.0kg）、肥満度－17.9%とした。

5. 相談指導計画

・栄養補給計画
　ホットミルク（牛乳 206g＋はちみつ 21g）を毎日飲む＋97kcal/日
　これまでの間食に加えて次の中から1種類選択して食べる（平均 62kcal/日）
　└みかん（2個）＋58kcal/日、一口サイズのアイスクリーム類（2個）+62kcal/日、カップヨーグルト（1個）+66kcal/日
　給食の米飯量 150gを食べて+36kcal/日　合計 195kcal
・行動計画：
　児　童：食事及び間食は準備されたものを食べる、盛り付けられた給食を食べきる。
　保護者：7月中旬から実施している主食量と間食は継続する。ホットミルク（牛乳＋はちみつ）に加えて、みかん、一口サイズのアイスクリーム類、ヨーグルトのいずれか1種類を毎日準備する。

【計画の変更】
・本人の特性やモチベーションの低下を考慮し、行動計画を見直した。
　本人：4週目から、「盛り付けられた給食を食べきる」を「給食の主食を食べきり、牛乳を飲みきる」に変更
　保護者：6週目から、特定の間食を準備するのではなく、「フローチャートを確認して準備する」に変更

6. 実施・モニタリング

・チェックシートを用いて行動計画の実施を確認した。

7. 再アセスメント（実施後の現状把握と課題の抽出）

・身長 142.3cm　体重 30.0kg　肥満度-17.9%
・食事調査から、以下のことがわかった。
　ア　1日のエネルギー摂取量 1,968～2,223kcal。　イ　給食の米飯の摂取量 130g／日。

8. 個人評価

・個人目標は達成された。
・アセスメント時と再アセスメント時の身体計測値を比較した結果、再アセスメント時の数値は、設定した個人目標と一致していたことから、アウトカムとして目標は達成されたと評価した。
・7月中旬から継続している家庭での米飯 150g 摂取について保護者から継続困難と相談があり、代替案として相当量の主食を示すことで体重減少を防ぐことができた。しかし、この時に行動計画の変更を行わなかったため、行動計画の達成率を正しく把握することができなかった。

1. 対象者の抽出・決定

(1)スクリーニング

①スクリーニング条件

・4月の校内身体測定結果から肥満度-20%以下の児童
・過去1年の体重の成長曲線が、チャンネルを横切って低下している児童
・過去1年の肥満度曲線が、チャンネルを横切って低下している児童

②スクリーニング結果

・4月の校内身体測定結果から肥満度-20%以下の児童(10 名/295 名)
・過去1年の体重の成長曲線が、チャンネルを横切って低下している児童(4名/10 名)
・過去1年の肥満度曲線が、チャンネルを横切って低下している児童(4名/10 名)
・保護者の困り感がある児童(1名/4名)

2. 目的・個別的な相談指導実施期間

(1)目的

やせの改善

(2)個別的な相談指導実施期間とスケジュール(予定含む)

実施期間:2か月

スケジュール:

	準備期間										実施期間2か月	評価期間		
内容	スクリーニング	対象者決定	面談①	アセスメント	個人目標決定	栄養補給計画決定	行動計画決定	面談②	栄養教育計画・連携計画等決定	追加アセスメント	行動計画決定	実施・モニタリング	再アセスメント	個人評価	面談③

(3)対象者

やせの小学5年男子児童(1名)

3. アセスメント(計画前の現状把握と課題の抽出)

(1)体格等

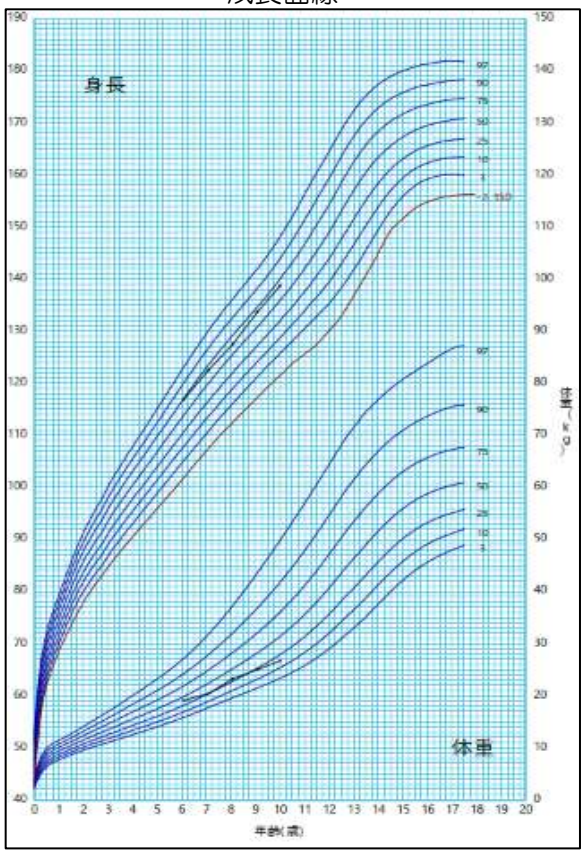
・アセスメント時:身長 141.5cm　体重 28.5kg　肥満度－20.7%

・身長・体重の経過及び現状

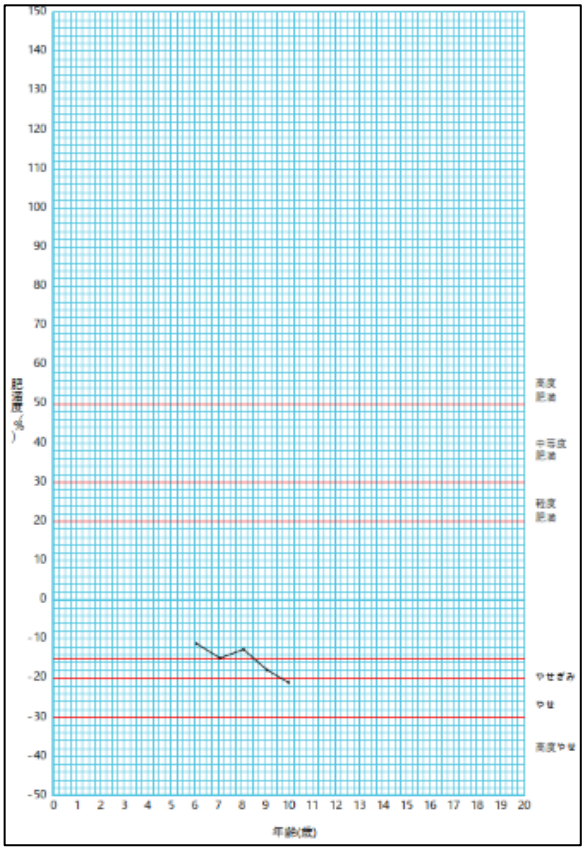
測定日	2021.4	2022.4	2023.4	2023.9	2024.1	2024.4	2024.9	2025.1	2025.4	2025.7	2025.9	2025.10
月齢	6歳1か月	7歳1か月	8歳1か月	8歳6か月	8歳10か月	9歳1か月	9歳6か月	9歳10か月	10歳1か月	10歳4か月	10歳6か月	10歳7か月
学年	1	2	3	3	3	4	4	4	5	5	5	5
身長(cm)	116.9	122.5	127.5	130.7	132.4	133.7	135.8	136.9	138.7	139.9	140.8	141.5
体重(kg)	19.1	20.4	23.3	23.7	24.8	25.0	26.2	27.2	26.7	27.0	28.5	28.5
肥満度(%)	-11.2	-14.9	-12.7	-17.0	-16.2	-17.9	-17.9	-16.7	-21.1	-22.3	-19.5	-20.7

※本児童は令和7年4月に本校へ転入

成長曲線



肥満度曲線



現 状

・小学校入学当時～3年生4月までは標準体型、3年生4月以降からやせぎみに移行し、4年生1月以降やせへ移行している。

課題
・小学校入学当時～3年生4月までは標準体型、3年生4月以降からやせぎみに移行し、4年生1月以降やせへ移行している。

(2)生活習慣等

①体調

現状
【本人から聞き取り】
・1～2年前から下肢部の痛みを訴えることがあるが、現在は痛みが消失している。痛む部位はその時によって異なる。

【保護者から聞き取り】
・母は、本人が友人から「ガリガリだね」と言われたのを気にしている。
・小学校入学前までは、年に1回程度、顔色や唇の色が悪くなる貧血の症状があった。入学後、本人からの申告や学校からの連絡はない。

課題
・なし

②生活・運動

現状
【保護者から聞き取り】
・就寝時刻は平日休日共に 23 時、起床時刻は平日7時半、休日8時。
・通学は徒歩で片道 10 分。
・習い事はしていない。
・スクリーンタイム3時間以上/日。
・間食後から夕食までの間は、ゲームや粘土、折り紙、タブレット端末での動画視聴、宿題等をして過ごす。

課題
・なし

③食事・食生活

現状
【保護者から聞き取り】

・食事時刻は、朝食7時半、休日の昼食 12 時、間食 15 時、夕食 19 時。
・個々に盛り付けているが、時々大皿で盛ったおかずを自分で取り分けている。
・よく噛んで食べており、1回の食事にかける時間は 30 分程。
・間食の頻度は1日2回。
・間食はロールパン、スナック菓子、塩せんべい、アイスクリーム類等を食べている。母はアイスクリーム類摂取による腹痛の可能性や摂取量の過剰を心配し、1回に食べる量を半分にしている。
・5月上旬に受診勧告の手紙を受け取ってから体重を意識し始め、牛乳に麦芽飲料を加えて飲み始めた。
・元々自宅で牛乳を飲む習慣はないが、冬季中はホットミルクにはちみつを加えて1～2日に1回飲んでいる。
・米飯について、嫌いなおかずの日は完食するが、好きなおかずの日は残す。
・パンはおかずに関係なく完食する。
・同じものを継続して摂取すると飽きる。
・児童本人が食欲や摂取意欲に限界を感じており、追加摂取について消極的である。

【学級担任から給食時間の様子の聞き取り】
・米飯以外は概ね食べられている。
・保護者からの聞き取りでは、食べられる野菜が少ないとのことだったが、給食では野菜を使ったおかずも少量ではあるが食べられている。
・米飯は完食できる日が少ない。
・パンや麺はおかわりをしている。

【栄養教諭の給食時間の観察】
・パンや麺は学年相当量を食べられているが、米飯や副菜、汁物は中学年～低学年相当量である。
・野菜料理が苦手。
・好きなものから食べ、苦手なものは最後に食べる。
・よくかんで食べており、時間がかかる。

課題
・自宅、学校共に米飯を食べきることが少ない。
・米飯について、嫌いなおかずの日は完食するが、好きなおかずの日は残す。(家庭)
・米飯は完食できる日が少ない。(給食)

(3)食事調査

①調査方法

・給食のある平日1日、給食のない平日1日、休日1日の合計3日間、食事記録及び食事写真の確認、聞き取りを行った。

・食事記録は、保護者に記入例を提示し、記録を依頼した。
・食事写真は、保護者に撮影を依頼した。
・食事記録及び食事写真は、栄養教諭へ提出するよう依頼した。
・食事記録及び食事写真で不明な点は、電話により保護者から聞き取った。

②解析方法

・上記の方法から、朝食・昼食・夕食・間食に分け、栄養素等摂取量を「日本食品標準成分表(八訂)」をもとに算出した。

(4)食事調査結果

①1日目(平日)

朝食	給食	間食①	夕食	間食②
				写真なし
・ピザトースト ・麦芽飲料粉末入り牛乳	・夏野菜 カレーライス ・牛乳 ・じゃこサラダ ・フルーツポンチ	・チョコレート菓子 ・ノンフライポテトスナック ・魚肉ソーセージ	・あんかけ 焼きそば ・ハッシュポテト	・麦芽飲料粉末入り牛乳

栄養素等摂取量

	エネルギー	たんぱく質		脂質	炭水化物	カルシウム	マグネシウム	鉄	ビタミンA	ビタミンD	ビタミンB1	ビタミンB2	ビタミンC	食物繊維	食塩相当量
	Kcal	g	g/kg 体重	g	g	mg	mg	mg	μg RAE	μg	mg	mg	mg	g	g
朝食	433	17.8	-	20.6	50.0	505	34	3.7	100	2.6	0.2	0.65	28	3.8	2.0
給食	476	18.4	-	18.1	66.6	289	52	0.8	239	0.7	0.39	0.43	11	3.9	1.1
間食①	335	9.6	-	15.4	39.7	727	0	0.0	0	0.0	0.00	0.00	0	0.8	1.4
夕食	574	23.4	-	23.4	76.6	130	59	5.0	94	0.2	0.44	0.50	17	8.7	2.3
間食②	155	6.3	-	7.5	18.1	396	16	3.2	59	2.6	0.06	0.53	17	0.9	0.2
合計	1,973	75.5	2.8	85.0	251.0	2047	161	12.7	492	6.1	1.09	2.11	73	18.1	7.0

②2日目(給食のない平日)

朝食	間食①	昼食	間食②	夕食
				
・納豆トースト ・バナナ ・麦茶	・ラクトアイス	・チャーハン ・麦茶	・ビスケット ・バナナ ・牛乳	・ガーリック トースト ・鮭のマリネソース ・目玉焼き ・ぶどう

栄養素等摂取量

	エネルギー	たんぱく質		脂質	炭水化物	カルシウム	マグネシウム	鉄	ビタミンA	ビタミンD	ビタミンB_1	ビタミンB_2	ビタミンC	食物繊維	食塩相当量
	Kcal	g	g/kg 体重	g	g	mg	mg	mg	μg RAE	μg	mg	mg	mg	g	g
朝食	396	14.5	-	13.0	60.5	141	78	1.6	45	0.0	0.14	0.22	20	6.5	1.3
間食①	108	1.5	-	5.3	13.4	0	0	0.0	0	0.0	0.00	0.00	0	0.0	0.2
昼食	331	10.8	-	11.0	50.4	23	19	0.9	54	1.2	0.19	0.16	33	2.6	1.4
間食②	401	8.8	-	19.4	52.2	180	43	0.5	190	0.6	0.16	0.27	10	1.4	0.4
夕食	728	40.8	-	36.0	63.8	100	65	3.5	320	29.6	0.32	0.65	19	3.2	2.3
合計	1,964	76.4	2.8	84.7	240.3	444	205	6.5	609	31.4	0.81	1.30	82	13.7	5.6

③3日目(休日)

朝食	昼食	間食①	夕食	間食②
		 ワッフル 1/2 枚 おかわり (写真なし)		
・ロールパン ・目玉焼き ・魚肉ソーセージ ・ミニトマト ・ぶどう ・麦芽飲料粉末入り牛乳	・納豆チャーハン ・ぶどう ・麦茶	・ワッフル ・バター ・バナナ	・麦ごはん 海苔の佃煮 ・鶏肉のコーン フレーク揚げ ・野菜スティック (マヨネーズ)	・ラクトアイス

栄養素等摂取量

	エネルギー	たんぱく質		脂質	炭水化物	カルシウム	マグネシウム	鉄	ビタミンA	ビタミンD	ビタミンB1	ビタミンB2	ビタミンC	食物繊維	食塩相当量
	Kcal	g	g/kg 体重	g	g	mg	mg	mg	μgRAE	μg	mg	mg	mg	g	g
朝食	601	26.4	-	27.9	68.0	771	47	5.2	213	5.0	0.22	0.84	31	3.6	1.8
昼食	398	13.1	-	12.0	63.7	64	42	1.8	74	1.2	0.21	0.22	16	4.7	1.0
間食①	614	15.0	-	23.0	90.5	89	51	1.5	255	1.7	0.20	0.26	9	2.4	0.5
夕食	481	17.9	-	16.9	68.3	61	45	1.5	155	1.0	0.15	0.21	8	3.7	1.8
間食②	108	1.5	-	5.3	13.4	0	0	0	0	0.0	0.00	0.00	0	0.0	0.2
合計	2,202	73.9	2.7	85.1	303.9	985	185	10.0	697	8.9	0.78	1.53	64	14.4	5.3

④事調査結果　まとめ

平日2日間の平均及び休日の栄養素等摂取量

[平日2日間の平均]

ｴﾈﾙｷﾞｰ	たんぱく質		脂質	炭水化物	ｶﾙｼｳﾑ	ﾏｸﾞﾈｼｳﾑ	鉄	V･A	V･D	V･B1	V･B2	V･C	食物繊維	食塩相当量
kcal	g	g/kg 体重	g	g	mg	mg	mg	μgRAE	μg	mg	mg	mg	g	g
1,969	76.0	2.8	84.8	245.7	1246	183	9.7	551	18.8	0.95	1.71	78	15.9	6.3

[休日1日]

ｴﾈﾙｷﾞｰ	たんぱく質		脂質	炭水化物	ｶﾙｼｳﾑ	ﾏｸﾞﾈｼｳﾑ	鉄	V･A	V･D	V･B1	V･B2	V･C	食物繊維	食塩相当量
kcal	g	g/kg 体重	g	g	mg	mg	mg	μgRAE	μg	mg	mg	mg	g	g
2,202	73.9	2.7	85.1	303.9	985	185	10.0	697	8.9	0.78	1.53	64	14.4	5.3

[平日2日間･休日1日　合計3日間の平均]※補正前

ｴﾈﾙｷﾞｰ	たんぱく質		脂質	炭水化物	ｶﾙｼｳﾑ	ﾏｸﾞﾈｼｳﾑ	鉄	V･A	V･D	V･B1	V･B2	V･C	食物繊維	食塩相当量
kcal	g	g/kg 体重	g	g	mg	mg	mg	μgRAE	μg	mg	mg	mg	g	g
2,046	75.3	2.8	84.9	265.1	1159	184	9.7	599	15.5	0.89	1.65	73	15.4	6.0

[平日2日間･休日1日　合計3日間の平均]※補正後

ｴﾈﾙｷﾞｰ	たんぱく質		脂質	炭水化物	ｶﾙｼｳﾑ	ﾏｸﾞﾈｼｳﾑ	鉄	V･A	V･D	V･B1	V･B2	V･C	食物繊維	食塩相当量
kcal	g	g/kg 体重	g	g	mg	mg	mg	μgRAE	μg	mg	mg	mg	g	g
1,989	72.5	2.7	81.3	260.4	879	179	6.6	579	13.2	0.87	1.27	56	14.5	5.8

・7月の食事調査時には3日間で麦芽飲料粉末入り牛乳3杯を飲んでいたが、飲まなくなった。10 月からはちみつ入りホットミルクを2日に1回飲んでいたため、数値を補正した。

・麦芽飲料は栄養機能食品であるため、特定の栄養素の摂取量への影響が大きいと推察し栄養素等摂取量を再算出したが、全体の食事状況からみて貧血のリスクは低く、直ちに健康障害を生じる状況ではないと判断した。

［9月の2日分　給食喫食状況］

ｴﾈﾙｷﾞｰ	たんぱく質		脂質	炭水化物	ｶﾙｼｳﾑ	ﾏｸﾞﾈｼｳﾑ	鉄	V･A	V･D	V･B1	V･B2	V･C	食物繊維	食塩相当量
kcal	g	g/kg 体重	g	g	mg	mg	mg	μgRAE	μg	mg	mg	mg	g	g
431	17.6	0.7	13.1	66.7	308	74	1.8	225	1.9	0.22	0.39	21	5.1	1.7

・7月の食事調査では給食実施日が1日しか調査できなかったため、9月の喫食状況について追加調査を行った。
・9月から、5年生1人分の米飯量を意識させるため、給食の米飯は9月から 150g(配食基準量)を盛りつけている。
・パンや麺は、5年生1人分の量を盛り付け、完食できている。
・7月の1日分、9月の2日分の給食の米飯摂取量は平均 110g／日。

現状

・毎日2回間食をしている。
・平日朝は食事時間短縮のためにトーストを食べている。
・麦芽飲料粉末入り牛乳を9月までは2日に1回飲んでいた。10 月以降は、はちみつ入りホットミルクを2日に1回飲んでいる。
・1日のエネルギー摂取量　1,964～2,202kcal。
・給食の米飯摂取量　110g/日(給食1回のエネルギー摂取量　445kcal)。
・1回の食事重量 202～567g。
・昼食重量 202～495g、昼食のエネルギー摂取量 331～398kcal/日。
・給食重量 464～567g、給食のエネルギー摂取量 408～476kcal/日。
・間食重量 284～361g、間食のエネルギー摂取量 490～722kcal/日。

課題

・1日のエネルギー摂取量　1,964～2,202kcal。
・給食の米飯摂取量　110g/日(給食1回のエネルギー摂取量　445kcal)。
・1回の食事重量 202～567g。
・昼食重量 202～495g、昼食のエネルギー摂取量 331～398kcal/日。
・給食重量 464～567g、給食のエネルギー摂取量 408～476kcal/日。
・間食重量 284～361g、間食のエネルギー摂取量 490～722kcal/日。

(5)アセスメントから抽出した課題

図1の「課題の改善可能性と重要度マトリクス」を用い、アセスメントから抽出した課題を整理した。網掛けの項目は、今回の個別的な相談指導で改善対象とする課題である。

① 1日のエネルギー摂取量 1,964～2,202kcal。
② 給食の米飯摂取量 110g/日。
（給食1回のエネルギー摂取量 445kcal）
③ 1回の食事重量 202～567g。
④ 昼食重量 202～495g、
昼食のエネルギー摂取量 331～398kcal/日。
⑤ 給食重量 464～567g、
給食のエネルギー摂取量 408～476kcal/日。
⑥ 間食重量 284～361g、
間食のエネルギー摂取量 490～722kcal/日。



図1 課題の改善可能性と重要マトリクス

(6)アセスメントから抽出した今回の個別的な相談指導で改善する課題

・1日のエネルギー摂取量 1,964～2,202kcal
・給食の米飯摂取量 110g/日（給食1回のエネルギー摂取量 445kcal）

4. 個人目標

(1)目標【実施期間】

【目 標】体重 1.5kg 増加（身長：142.3cm 体重：30.0kg 肥満度-17.9%）
【期 間】2か月

(2)個人目標設定根拠（実施期間終了時の身長・体重の予測値を算出したうえで根拠を明確にする）

時期	4年生			5年生				12月（仮定）			
				アセスメント時				指導なし（60日後）	指導あり		
	4月	9月	1月	4月	7月	9月	10月7日		体重+1kg	体重+1.5kg	体重+2kg
身長（cm）	133.7	135.8	136.9	138.7	139.9	140.8	141.5			142.3	
体重（kg）	25.0	26.2	27.2	26.7	27.0	28.5	28.5	28.9	29.5	30.0	30.5
肥満度（%）	-17.9	-17.9	-16.7	-21.1	-22.3	-19.5	-20.7	-20.9	-19.3	-17.9	-16.5

・4年生4月からアセスメント時までの1年6か月の成長から、1か月あたりの身長・体重の増加量を算出した。
・身長の伸びは 0.4cm/月
・体重の増加は 0.2kg/月
・2か月後の身長は 142.3cm、体重は 28.9kg と仮定した。
・急激な体重増加は児童の心身への負担が大きいと考え、現状の体重から 1.5kg 増量を目標とした。

5. 相談指導計画

(1)栄養補給計画

①計画

[栄養補給計画]

	ｴﾈﾙｷﾞｰ	たんぱく質		脂質	炭水化物	ｶﾙｼｳﾑ	ﾏｸﾞﾈｼｳﾑ	鉄	V・A	V・D	V・B1	V・B2	V・C	食物繊維	食塩相当量
	kcal	g	g/kg 体重	g	g	mg	mg	mg	μgRAE	μg	mg	mg	mg	g	g
ｱｾｽﾒﾝﾄ値	1,989	72.5	2.7	81.3	260.4	879	179	6.6	579	13.2	0.87	1.27	56	14.5	5.8
方法案	+190	+6.0	+0.3	+5.5	+32.7	+165	+24	+0.2	+73	+0.3	+0.09	+0.23	+14	+0.7	+0.2
栄養補給計画	2,179	79	3	87	293	1044	203	7	652	14	1	2	70	15	6

②設定根拠

【エネルギー】
・指導なしの場合、アセスメントから2か月後の身長 142.3cm、体重 28.9kg と仮定した。
・現在の体重から 1.5kg 増加の 30.0kg にするため、30.0kg-28.9kg＝1.1kg 増加させることが必要であると考えた。また、減量では1kg あたり約 7,000～8,000kcal のエネルギー消費を目安とするが、増量の場合は生合成にもエネルギーを要し、体脂肪では約 13,200kcal、筋肉では約 2,200kcal が必要とされる。成人では約 8,000kcal で1kg 増加するとされているが、成長期の児童では成長に伴うエネルギー需要も考慮する必要がある。本事例では、運動習慣がなく活動量が少ないこと、成長に必要なエネルギー確保が求められることを踏まえ、可能な範囲でエネルギー付加を行い、体重変化をモニタリングしながら支援を進めることにした。体重増加は短期間で現れない場合があることを前提とし、状況に応じて個人目標や栄養補給計画を柔軟に見直す方針とした。以上のことから

①8,000kcal×1.1kg＝8,800kcal
②エネルギー蓄積量…40kcal×60 日＝2,400kcal
(①8,800kcal＋②2,400kcal)/60 日＝186.6kcal≒190kcal
エネルギー摂取量を 190kcal/日付加する計画とした。

【栄養素】
・栄養素の摂取量は、牛乳、間食、給食の米飯に含まれる分を考慮し、設定した。

③実現のための方法案

アセスメントの課題解決のための栄養補給計画＋190kcal/日にするため、下記栄養補給計画を設定した。

[方法案1]
①-1 ホットミルク(牛乳 206g＋はちみつ 21g)を1杯飲む。【+97kcal/日】
②-2 間食からの摂取エネルギーを＋60kcal/日にする。

a	みかん2個を食べる。	【＋58kcal/日】	a,b,c のいずれか 約 60kcal/日
b	一口サイズのアイスクリーム類2個を食べる。	【＋62kcal/日】	
c	カップヨーグルト1個を食べる。	【＋66kcal/日】	

③ 給食の主食(米飯)量 150g を食べる。【＋36kcal/日】

[方法案2]
①-1 ホットミルク(牛乳 155g＋はちみつ 21g)を1杯飲む。【+66kcal/日】

②-2 間食からの摂取エネルギーを＋83kcal/日にする。

a	りんご 1/2 個を食べる。	【＋80kcal/日】	a,b,c のいずれか 約 83kcal/日
b	ロールパン1個を食べる。	【＋86kcal/日】	
c	チーズ1本を食べる。	【＋80kcal/日】	

③ 給食の主食(米飯)量 150g を食べる。【＋36kcal/日】
※児童が食事摂取量の増加に消極的であること、同一食品の継続摂取に対して飽きや抵抗を示す特性が見られることを踏まえ、継続性を最優先として計画を立案した。そのため、エネルギー付加量を完全に同一とするのではなく、一定の幅を持たせた複数の選択肢を提示し、児童自身が選択できる構成とした。
→[方法案1]と[方法案2]を提示した結果、保護者及び児童は[方法案1]を選択した。

(2)行動計画

児童	①	家庭での食事及び間食は準備されたものを食べる。
	②	給食は、担任が盛りつけたものを食べきる。
保護者	①-1	ホットミルク(はちみつ入り)を毎日準備する。
	②-2	みかん又は一口サイズのアイスクリーム類又はヨーグルトを準備する。
	他	主食が米飯の場合は150g盛り付ける。【継続】
	他	これまで通りの間食を準備する。【継続】

※担任からの聞き取りにより、給食の喫食状況について「米飯以外は概ね食べている」ということであったため、米飯量150g食べる＝担任が盛りつけたものを食べきるという表記とした。
※既に家庭で定着傾向にあり、今後も継続してほしい内容について“他”とし、行動計画に含めた。

(3)栄養教育計画

時期	場所	指導形態	対象者	指導者	内容	評価方法
10月上旬	—	資料提供	保護者	栄養教諭	・主食量 ・飲み物のエネルギー量	—
10月上旬	教室	個人指導	保護者	栄養教諭	・1食分の食事量 ・1日分の食事量 ・間食の選び方	—
11月上旬	教室	個人指導	児童	栄養教諭	・間食の選び方	ミニテスト
11月下旬	教室	集団指導	児童	家庭科担当教諭 栄養教諭	家庭科「ご飯とみそ汁」 ・1食分の食事量	ワークシート

(4)連携計画(体制・計画)

担当	頻度	内容	場所
管理職	適宜	・全体把握及び校内体制の整備 ・保護者対応に関する相談及び調整	教室
栄養教諭	毎日	・給食喫食状況確認 ・状況の共有	教室
	適宜	・保護者への状況報告、聞き取り、相談	
	毎週月曜日	・チェックシート確認	職員室
	毎週火曜日	・身体測定記録の確認	
養護教諭	毎週火曜日	・身体測定及び記録 ・気持ちや意識、体調の変化の聞き取り及び見取り	保健室
担任	毎日	・給食の適量配膳とおかわりの量の調整及び計量 ・本人の気持ちに配慮した声掛けや見守り	教室
	毎週月曜日	・チェックシートの回収 ・保護者への聞き取り	
	毎週火曜日	・本人が保健室へ行くよう促す	
保護者	毎日	・自宅での食事管理 ・チェックシートの確認 ・児童の様子の観察	自宅

(5)個人情報の管理・倫理的配慮

・個人情報は、個人フォルダ内に個別のファイルを作成し、パスワードのかかった PC で管理した。
・紙面は、個別のファイルを作成し、鍵付き保管庫で保管した。
・上記2つは共に校外へ持ち出さない。
・保護者への連絡は、専用封筒でやり取りを行った。
・実施にあたっては、対象児童及び保護者に対し、支援の目的、内容、方法について十分に説明し、同意を得た上で行った。
・児童の身体状況や食事内容については、本人の尊厳及び心理的負担に十分配慮し、評価的な表現や強制的な指導を行わないよう留意した。また、個人が特定されないよう匿名化を行い、得られた情報は本指導以外に使用しないこととした。
・本事例においては、関係法令及び学校の個人情報管理規程を遵守し、倫理的配慮のもと実施した。

6. 実施・モニタリング

(1)指導内容

【身体測定】
・対象児童:毎週火曜日4時間目終了後に
保健室で測定する。
【チェックシート】(図2)
・児童及び保護者が1枚のカードに記入する。
・栄養教諭:取組状況・内容を確認。
コメントを記入して返却。
スキャンしデータは保存。
・保護者:家庭での取り組み状況を○×で記載し
特記事項などあればコメント欄に記入する。
・担任:学校での給食喫食状況を確認し、○×で
記載。間食摂取状況に漏れがあった場合は、保
護者に確認し、記入する。



図2　チェックシート

【栄養教育】
[個人指導]
出席者:児童、担任、栄養教諭
内容:　間食の目的(図3)と実践例を紹介し、ミニテスト(図4)を実施。指導日から3日間、家庭の間食を写真で撮影し、栄養教諭までクラウド型学習支援ツール(ロイロノート)で送る宿題を出した。
[集団指導]
家庭科「食べて元気に」の題材を活用し、1食分の食事量と五大栄養素について指導を行った。

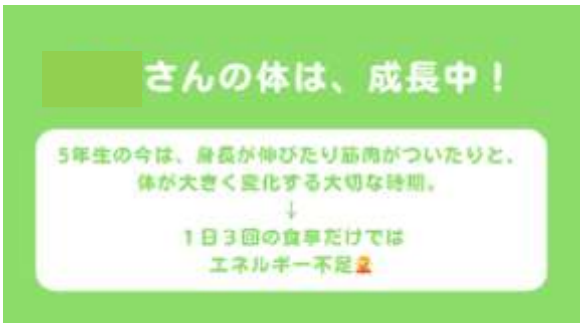


図3　間食の目的


図4　ミニテスト

[保護者への資料提供]
・方法案1と2の説明資料として、補食に関するフローチャートを提示し、説明を行った。(図5)
・飲み物について、家庭での摂取状況に近いものを提示し、エネルギー量についてチャートで示した。
(図6)



図5　やせ改善のための補食フローチャート



図6　飲み物チャート

・児童への間食指導に関連し、保護者にも同内容の説明を行い、家庭での間食の位置付けと役割を共有した。併せて、現在家庭で取り組んでいる間食の実施状況については、現状を尊重しつつ継続が適切であることを説明した。



図7　間食の位置付けと役割



図8　おすすめの間食例

[保護者に対する栄養教育後の理解度確認]

「家庭の中でお話しするとしたら、どのように説明されますか」「おうちで振り返るとしたら、どのような理由だったと感じますか」といった問いかけを行い、保護者自身の言葉による説明を通して理解状況を確認した。

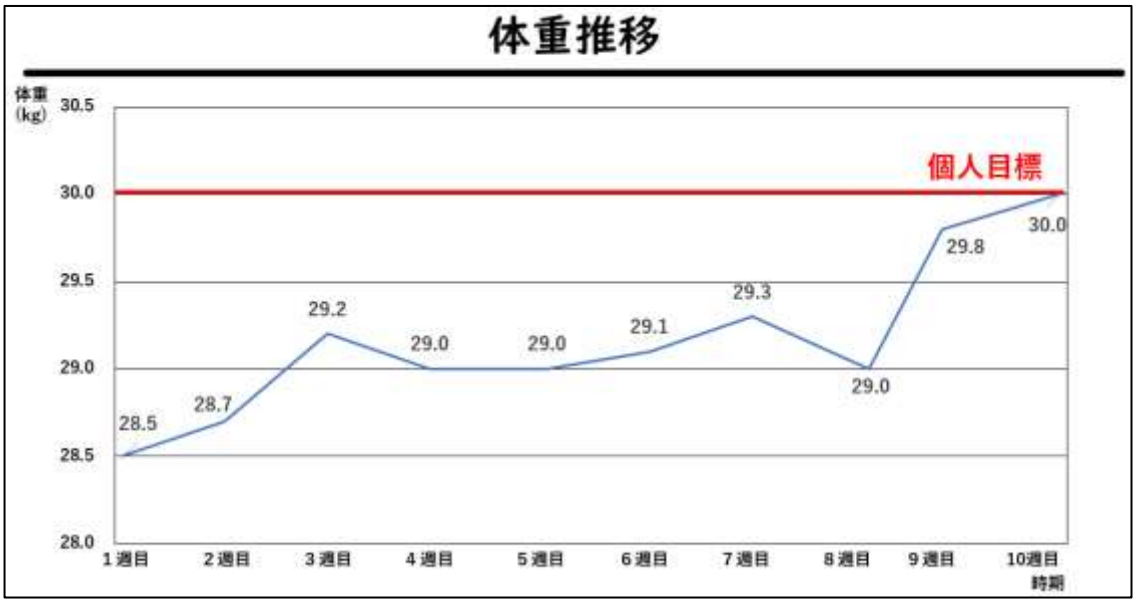
(2)モニタリング

ア 体重の推移

・毎週保健室で体重を計ることが習慣として定着し、養護教諭からの「体重が増えたね。」等前向きな声かけに笑顔で頷く様子が見られた。

・体重測定時に前日の間食について話す姿が見られ、体重の変化と食事のつながりを意識している様子が見られた。

・3週目にかけて体重の増加がみられ、この時点で指導なしの場合の2か月後想定体重に達した。



イ チェックシートからの見取り

【間食について】

＜1～4週目＞

・ホットミルクについては、ほぼ毎日摂取されていた様子が確認された。ただし、家庭での牛乳のストック状況により摂取できていない日もあった。

・これまで継続していた間食についても、概ね毎日摂取できていた様子が見られ、家庭内で定着している行動であったと推察された。

＜6週目＞

・ホットミルク以外の間食に対して食べ飽きの様子がみられたことと、保護者のチェックシート記入が滞り始めたため、当初、方法案1と2の説明に使用したフローチャート(図5)を用いて、児童の食品の選択肢を広げた上で、保護者の行動計画とチェックシートの整合性を図る対応を行った。

★行動計画の変更1(保護者 ②－2)

「みかん又は一口サイズのアイスクリーム類又はカップヨーグルトを準備する」 から、

「補食フローチャートを確認して間食を準備する」 へ変更。

【給食について】

＜1～3週目＞

・担任の声掛により、食べ進める様子が見られたが、副菜や卵料理を残すことが続いた。

・3週目終了時点で、児童の行動計画②「給食は担任が盛り付けたものを食べきる」の達成率が9.0%であった。チェックシートに〇がつかないことが本人の意欲低下につながっている様子が見られた。

＜4週目＞

・3週目までの様子から、本人の意欲低下を懸念し、行動計画の変更を提案した。

★行動計画の変更2（児童 ②）

「給食は担任が盛り付けたものを食べきる」から、

「給食の主食を食べきり、牛乳を飲みきる」 へ変更。

※改めて以前の喫食状況を聞き取りしたところ、副菜や卵料理については以前から残す傾向があったことが分かったため、行動計画変更に伴うエネルギー摂取量の変化は少ないと推察し、栄養補給計画の変更は行わなかった。

※主食や牛乳以外の料理についても、栄養教諭と担任による声かけは継続した。

＜5週目～＞

・児童の行動計画②の達成率が上がり、時には完食する様子も見られた。

ウ　保護者からの聞き取り

【米飯について】

＜3 週目＞

・保護者への聞き取りから、家庭での米飯 150gを食べきることができる日が少ないことがわかった。

・米飯 150g相当のエネルギー量を摂取するための、その他の主食の量を提示した。（図9）

・栄養教諭は、エネルギー摂取量の減少による体重低下を懸念し、「相当量の主食を食べていれば、米飯 150gを達成したこととしてよい」と口頭で伝えた。その際、行動計画及びチェックシートの変更は行わなかった。



図9　白飯 150g 相当量の主食

・保護者の報告により、夕食の主食（米飯）の代替品として食パンや蒸し中華麺などを選んでいたことが分かった。

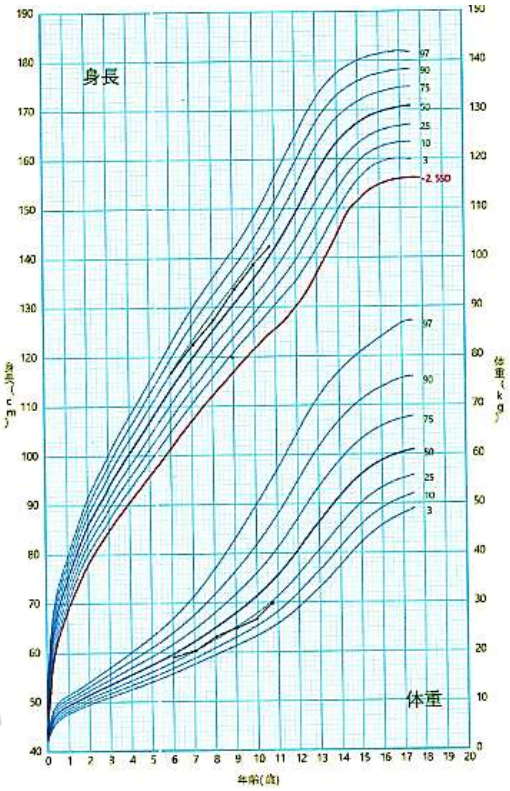
［行動計画等の実施状況］

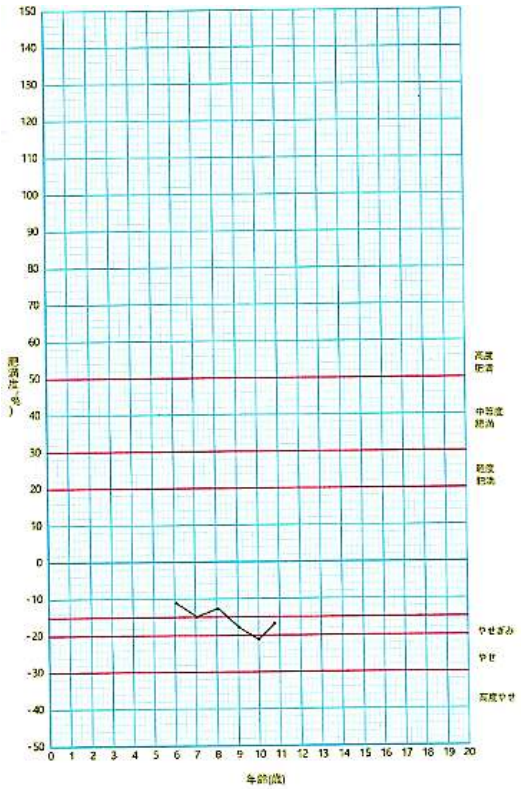
		課題･行動計画No.		行動計画等	実施率
児童	継続	①－1	家庭食事	主食は米飯 150gを食べる 主食(米飯 150g相当量)を食べる	94.4%(17/18) 61.9%(26/42)
		①－2	家庭間食	これまで通りの間食を食べる	76.7% (46/60)
	新規	①－3	家庭間食	ホットミルクを飲む	70.0% (42/60)
		①－4	家庭間食	【1～5週目】 みかん or 一口サイズのアイスクリーム類 or ヨーグルトを食べる	71.9% (23/32)
				【6～9週目】 補食フローチャートで準備された間食を食べる	35.7% (10/28)
		②	給食	【1～3週目】 担任が盛り付けた量を食べきる	9.0% (1/11)
				【4～9週目】 給食の主食と牛乳を全て食べきる	76.2% (16/21)
		他－1	行動	チェックシートを提出する	100% (8/8)
		他－2	給食	身体測定を行う	71.7% (43/60)
保護者	継続	他－1	家庭食事	主食は米飯 150g を盛り付ける 米飯 150g相当の主食を盛り付ける	94.4%(17/18) 61.9%(26/42)
		他－2	家庭間食	これまで通りの間食を準備する	76.7% (46/60)
	新規	①－1	家庭間食	ホットミルクを準備する	70.0% (42/60)
		①－2	家庭間食	【1～5週目】 みかん、一口サイズのアイスクリーム類、ヨーグルトのいずれかを準備する	71.9% (23/32)
			家庭間食	【6～9週目】 フローチャートで確認して間食を準備する	35.7% (10/28)
		他－3	行動	チェックシートを記入する	50.0% (30/60)

7. 再アセスメント

(1)体格

再アセスメント時:身長 142.3cm 体重 30.0kg 肥満度-17.9%





現 状

・体重増により、やせが改善された。

課 題

・なし

(2)生活習慣等

①体調

現 状

・左鎖骨を骨折している。

・下肢部の痛みの訴えはない。

・排便習慣は2日に1回。

課 題

・なし

②生活・運動

現 状

【保護者からの聞き取り】

・「児童の体重が増えてきて嬉しい」と感じている。

・小学3年生頃から身長が伸びるにつれて痩せていっていたが、どのように食べる量を増やせば良いか分からなかった。

・運動習慣がない。

・スクリーンタイム1日4時間以上。

課 題

・なし

③食事・食生活

現 状

【保護者からの聞き取り】

・指導開始以前と比べて、食事量が増えた。指導開始前は少食というわけではなく、好きなものだけを食べていた。その状態を諦めており、気にもしていなかった。指導開始後は、本人が好きなパンや麺を米飯の代替品として選び、多めに盛り付けるよう工夫している。

・間食は、指導開始以前は本人の好きな市販品を選ばせていたが、今はエネルギーの高いものを選んだり、手作りのおやつをつくるようにしたりしている。

・指導開始前にご飯茶碗を買い換え、大人と同じ大きさのものにした。母と同じ量を食べている。

・児童が野菜を食べないのが気になる。

・好きになっても、食べ続けると飽きてしまう。

課 題

なし

(3)食事調査

①調査方法

・平日2日、休日1日の合計3日間、食事記録及び食事写真の確認、聞き取りを行った。その他はアセスメント同様に行った。

②解析方法

・上記の方法から、朝食・昼食・夕食・間食に分け、栄養素等摂取量を「日本食品標準成分表(八訂)」をもとに算出した。

(4)食事調査結果

①1日目(休日)

朝食	昼食	間食	夕食
	写真なし	写真なし	
・トースト (マーガリン・ジャム) ・野菜オムレツ	・いかとズッキーニのペペロンチーノ ・ベイクドチーズケーキ ・オレンジジュース1杯	・ぶどう飴 (マスカット) ・オレンジジュース1杯	・あんかけ焼きそば ・りんご

栄養素等摂取量

	エネルギー	たんぱく質		脂質	炭水化物	カルシウム	マグネシウム	鉄	ビタミンA	ビタミンD	ビタミンB1	ビタミンB2	ビタミンC	食物繊維	食塩相当量
	Kcal	g	g/kg体重	g	g	mg	mg	mg	μg RAE	μg	mg	mg	mg	g	g
朝食	421	17.8	-	21.2	45.4	115	28	1.5	152	2.5	0.18	0.30	22	4.8	2.2
昼食	669	23.7	-	30.7	81.1	89	85	1.6	208	1.2	0.32	0.32	95	4.1	1.2
間食	264	2.0	-	0.4	65.7	25	25	0.4	11	0	0.19	0.05	86	1.2	0
夕食	614	19.4	-	36.1	64.9	74	40	2.2	355	1.1	0.32	0.44	18	7.1	1.5
合計	1,968	62.9	2.1	88.4	257.1	303	178	5.7	726	4.8	1.01	1.11	221	17.2	4.9

②2日目(平日)

朝食	給食	間食	夕食	間食
				
・ツナトースト ・みかん	・牛乳 ・コッペパン ・はちみつ ・チョコクラッカー ・具沢山オムレツ ・カレーポテト ・野菜とレンズ豆のスープ	・草まんじゅう ・干し芋 ・ホットミルク	・ご飯 ・焼き餃子 ・きゅうりとわかめとカニカマの酢の物	・焼きりんご

栄養素等摂取量

	エネルギー	たんぱく質		脂質	炭水化物	カルシウム	マグネシウム	鉄	ビタミンA	ビタミンD	ビタミンB1	ビタミンB2	ビタミンC	食物繊維	食塩相当量
	Kcal	g	g/kg 体重	g	g	mg	mg	mg	μg RAE	μg	mg	mg	mg	g	g
朝食	374	12.3	-	19.0	42.8	38	31	1.1	87	1.2	0.16	0.10	32	3.8	1.3
給食	628	25.2	-	22.7	89.4	371	70	2.2	252	2.4	0.31	0.64	15	6.5	2.2
間食	410	10.6	-	8.3	79.8	261	38	1.5	86	0.6	0.18	0.35	6	4.4	0.2
夕食	513	22.4	-	12.2	82.6	77	54	1.3	24	0.2	0.65	0.22	18	5.2	1.1
間食	298	7.0	-	16.2	38.4	232	24	0.2	131	0.7	0.11	0.31	7	1.7	0.4
合計	2,223	77.5	2.6	78.4	333.0	979	217	6.3	580	5.1	1.41	1.62	78	21.6	5.2

③3日目(平日)

朝食	給食	間食	夕食	間食
	  残り	 		 ＊キャラメルサンド(写真なし)
・ジャムトースト ・みかん	・牛乳 ・ご飯 ・ボラの薬味ソースがけ ・さつま汁 ・りんご	・キャラメルサンド ・ナチュラルチーズ ・準チョコレート菓子	・バターコーン入りご飯 ・ハンバーグ ・大根おろし ・わかめときゅうりとカニカマの酢の物	・焼きりんご ・ホットミルク ・キャラメルサンド

栄養素等摂取量

	エネルギー	たんぱく質		脂質	炭水化物	カルシウム	マグネシウム	鉄	ビタミンA	ビタミンD	ビタミンB1	ビタミンB2	ビタミンC	食物繊維	食塩相当量
	Kcal	g	g/kg 体重	g	g	mg	mg	mg	μg RAE	μg	mg	mg	mg	g	g
朝食	254	6.7	-	2.9	53.3	39	24	0.6	85	0.0	0.15	0.07	33	4.8	0.8
給食	464	18.2	-	13.4	73.0	184	57	1.3	94	4.4	0.19	0.33	10	4.4	1.3
間食	395	11.8	-	21.1	41.6	231	9	0.4	4	0.0	0.04	0.02	0	1.0	1.3
夕食	559	26.0	-	18.7	77.5	74	62	2.3	161	0.7	0.49	0.28	12	6.3	2.6
間食	444	9.7	-	22.4	58.4	289	30	0.4	123	0.7	0.13	0.33	6	2.1	0.8
合計	2,116	72.4	2.4	78.5	303.8	817	182	5.0	467	5.8	1.00	1.03	61	18.6	6.8

④食事調査結果　まとめ

平日２日間の平均及び休日の栄養素等摂取量

[平日２日間の平均]

ｴﾈﾙｷﾞｰ	たんぱく質		脂質	炭水化物	ｶﾙｼｳﾑ	ﾏｸﾞﾈｼｳﾑ	鉄	V･A	V･D	V･B1	V･B2	V･C	食物繊維	食塩相当量
kcal	g	g/kg 体重	g	g	mg	mg	mg	μgRAE	μg	mg	mg	mg	g	g
2,170	75.0	2.5	78.5	318.4	898	200	5.7	523	5.5	1.21	1.33	70	20.1	6.0

[休日1日]

ｴﾈﾙｷﾞｰ	たんぱく質		脂質	炭水化物	ｶﾙｼｳﾑ	ﾏｸﾞﾈｼｳﾑ	鉄	V･A	V･D	V･B1	V･B2	V･C	食物繊維	食塩相当量
kcal	g	g/kg 体重	g	g	mg	mg	mg	μgRAE	μg	mg	mg	mg	g	g
1,968	62.9	2.1	88.4	257.1	303	178	5.7	726	4.8	1.01	1.11	221	17.2	4.9

[平日２日間･休日１日　合計３日間の平均]

ｴﾈﾙｷﾞｰ	たんぱく質		脂質	炭水化物	ｶﾙｼｳﾑ	ﾏｸﾞﾈｼｳﾑ	鉄	V･A	V･D	V･B1	V･B2	V･C	食物繊維	食塩相当量
kcal	g	g/kg 体重	g	g	mg	mg	mg	μgRAE	μg	mg	mg	mg	g	g
2,102	70.9	2.4	81.8	298.0	700	192	5.7	591	5.2	1.14	1.25	120	19.1	5.6

現 状

・食事回数3回/日、間食回数1～2回/日。
・毎日、朝食の主食はパンである。
・平日の朝食は、すぐに食べられるようジャム等を載せたトーストを食べている。
・1日のエネルギー摂取量 1,968kcal～2,223kcal。
・給食の米飯摂取量 130g/日。
・給食の平均エネルギー摂取量 546kcal/日。
・1回の食事重量 185～491g。
・朝食重量 185～202g、朝食のエネルギー摂取量 254～421kcal/日。
・昼食重量 434g、昼食のエネルギー摂取量 669kcal/日。
・給食重量 449～491g、給食のエネルギー摂取量 464～628kcal/日。
・間食重量 316～360g、間食のエネルギー摂取量 264～839kcal/日。
・家庭の米飯 150g は混ぜご飯にしても残る。

課題

・給食の米飯摂取量 130g/日。

・家庭の米飯 150g は混ぜご飯にしても残る。

8. 個人評価

(1)アウトカム

評価：1

【評価基準】1：個人目標を達成できた　0：個人目標を達成できなかった

	アセスメント 10 月	再アセスメント① 12 月	個人目標②	個人目標との差 ①-②
身長（cm）	141.5	142.3	142.3	±0
体重（kg）	28.5	30.0	30.0	±0
肥満度（%）	-20.7	-17.9	-17.9	±0

アセスメント時と再アセスメント時の身体計測値を比較した結果、再アセスメント時の数値は、設定した個人目標と一致していたことから、目標は達成されたと評価した。このことから、設定した個人目標は、児童の成長過程を踏まえた妥当なものであったと考えられる。

(2)アウトプット

【評価基準】4：できた　3：おおむねできた　2：あまりできなかった　1：できなかった

■評価指標

項目		評価	内容
スクリーニング		4	・時期、条件及び対象人数は概ね適切だった。
アセスメント	現状把握	2	・7月のアセスメントでは、日常的な給食喫食状況の把握が不十分と判断し、9月に追加調査を実施した。 ・指導開始直前に家庭の食事内容の変更が判明したことから、家庭での食事状況についても再確認を行い、以降の指導計画に反映させた。 ・食事生活状況調査については、回答の負担軽減を意識した簡潔な質問項目で構成した。間食の詳細や家庭での食事量の変動等の把握が十分とは言えず、調査精度に課題が残った。今後は具体的な記入例を提示する等質問票を工夫し、より円滑な支援につなげていく必要がある。
	課題の抽出	3	・アセスメントで把握した課題について、「重要性」と「改善可能性」の観点から整理し、本指導期間内で改善が見込まれる内容を優先的に設定した。

			・面談時に家庭の食事状況の聞き取りは行ったが、食品の変更や摂取頻度の変化まで十分に確認できておらず、課題抽出の精度には改善の余地があった。今後は、確認項目を整理し、家庭状況をより具体的に把握した上で課題設定を行う必要がある。
個人目標の設定		4	・入学以降、成長曲線及び肥満度曲線に大きな変動がなかったことから、4年生4月から5年生7月までの身長・体重の推移を基に1か月あたりの増加量を算出し目標値を設定した。身長は想定範囲内で推移していた。
栄養補給計画 ※1		3	・同一食品の継続摂取に対し、飽きや抵抗を示す児童の特性を踏まえ、食品及び提供形態に選択肢を設けた。
行動計画		3	・家庭で既に定着している行動（米飯150g摂取、これまでの間食と、新たに取り組む行動（はちみつ入りホットミルクの摂取、選択制の間食導入）を分けて整理し、実施内容を明確化した。 ・間食については、当初「みかん又は一口サイズのアイスクリーム類又はカップヨーグルトを準備する」を計画していたが、児童が食べ飽きている様子が見られた。行動計画決定の際に使用した説明資料を活用し、6週目から「補食フローチャートを確認して間食の準備をする」に変更した。 ・給食については、当初「担任が盛り付けた量を食べきること」を計画としたが、副菜等に残食傾向が見られ達成率が低かったため、4週目から「主食を食べきり、牛乳を飲みきること」へ変更した。日常の喫食状況から、変更によるエネルギー摂取量の大きな減少はないと判断し、栄養補給計画は継続した。 ・家庭で米飯 150g の摂取が難しい状況に対して、米飯150g 相当の主食量を資料で提示し、食パンや中華麺等への代替を可能としたことで、家庭状況に応じた実践につなげることができた。しかし、行動計画及びチェックシートの変更を行わなかったため、正しい達成率の把握が困難となった。 ・継続事項として設定した「これまでの間食の継続」については、チェックシートの記入漏れはあったものの、口頭確認から概ね実施されており、家庭内で定着した行動であったと評価した。
栄養教育計画		3	・概ね計画どおり実施できたが、本人の体調不良や学校行

		事により、実施時期を延期するものもあった。 ・個人指導は約5分で要点を絞って行い、児童が集中して取り組む様子が見られた。評価として実施したミニテストは全問正答であり、間食の役割等の理解が確認された。写真提出課題も適切に実施され、学習内容を行動に移す姿勢が見られた。
連携計画	3	・関係職員と情報共有を行い、生徒指導部会において指導の進捗を報告した。 ・給食写真の撮影漏れや喫食状況の把握が不十分な日があり、関係職員全体に対する支援内容や役割分担の事前説明をより丁寧に行う必要があった。
個人情報の管理	4	・校務支援システムを活用し、記録や資料は関係職員のみが閲覧可能な環境で適切に管理した。
指導・モニタリング	3	【指導】 ・給食では当初残食が見られたが、担任や栄養教諭による声かけにより完食できる日が増加した。 ・エネルギー付加を目的に調理時の油追加を提案したが、保護者が既存の行動計画の継続を希望したため、計画の変更は行わなかった。 【モニタリング】 ・実施期間中、家庭でのはちみつの在庫切れにより、ホットミルクがはちみつから砂糖に変更されていたことが、終了後に判明した。食品内容の変更を十分に把握できていなかった点は課題である。 ・チェックシートは1週目のみ児童が記入し、その後は保護者が記入していた。記入項目が多く、最終達成率は 50%であったことから、記載負担や様式の分かりにくさが影響した可能性がある。今後は、項目を簡素化した週単位確認様式へ見直す必要がある。 ・10 月は達成率が比較的高かったが、約1か月後以降は記載漏れが増加し、計画どおりのモニタリングが困難となった。毎週の提出は維持されていたものの提出日以外は手元にないことが多く、日常的確認が遅れることがあった。児童の欠席や、保護者への声かけ後も記載が定着しない状況も達成率低下に影響したと考えられる。 ・行動計画①-2とチェックシートの対応関係が複雑であったため、6週目以降はフローチャートを行動計画に位置付け、「フローチャートを確認して間食を準備する」へ再構成

			した。 ・家庭との情報共有はチェックシートを中心に行ったが、返信が得られないこともあり、保護者の受け止めや負担感の把握には限界があった。そのため必要に応じて担任を介して聞き取りを行った。
再アセスメント	現状把握	4	・保護者へ[連続しない平日2日間]の食事調査を依頼したが、実際には連続した平日2日間の記録となったため、調査条件の強調と事前確認の必要性が示された。 ・現状把握の結果、牛乳、みかん、一口サイズのアイスクリーム類、ヨーグルトは保護者より「今後も継続できそうである」との認識が示された。 ・主食については、家庭では夕食時に米飯 150g の提供は継続されているものの、完食には至らない日があることがわかった。給食においても 150gを盛り付けているが、実際の摂取量は約 130gにとどまっている。
	課題の抽出	3	・再アセスメント結果を踏まえ、今後は食育だよりや給食時間指導、集団指導等を活用して経過を確認し、必要に応じて関係職員と連携しながら見守りを継続する。 ・米飯は 150g 提供が継続されているものの、家庭・給食共に実摂取量は安定しておらず、特に混ぜご飯では残食が見られた。量の設定だけでなく、嗜好や受け入れやすさを踏まえた提供方法の工夫が今後の課題である。 ・残しがちな米飯以外の料理の傾向を把握し、児童の特性を踏まえた支援につなげる必要がある。

※1[再アセスメントと栄養補給計画の比較]

	エネルギー	たんぱく質	体重1kgあたりたんぱく質	脂質	炭水化物	カルシウム	マグネシウム	鉄	ビタミンA	ビタミンD	ビタミンB1	ビタミンB2	ビタミンC	食物繊維	食塩相当量
	Kcal	g	g/kg	g	g	mg	mg	mg	μgRAE	μg	mg	mg	mg	g	g
①栄養補給計画	2,179	79	3	87	293	1044	203	7	652	14	1	2	70	15	6
②再アセスメント	2,102	70.9	2.36	81.8	298.0	700	192	5.7	591	5.2	1.14	1.25	120	19.1	5.6
差	-77	-8.1	-0.64	-5.2	+5.0	-344	-11	-1.3	-61	-8.8	+0.14	-0.75	+50	+4.1	-0.4